



336 A地区 2R -2Z

2004.11 №.323

今治東ライオンズクラブ会報

We Serve ~われわれは奉仕する~

題字はクラブ会長の揮毫

クレメント F. クジアク国際会長テーマ『Share Success Through Service』(奉仕を通して成功を分かち合おう)

336-A地区 ガバナーズ・スローガン『すてきな出会い 心ひとつに 楽しく奉仕』

会長スローガン『活力と輪をもってウィサーブ』

2枚の写真



今治 商人まつり





西高定时制運動会

青少年育成委員長 篠宮博幸

去る10月6日(水)午後6時より今治西高定时制の運動会が行われました。前日の天気が雨で少し開催が心配されました。当日は朝から晴れて夕方から少しづつ肌寒くなりましたが、絶好の日和ではなかったかと思います。今年度は、年度当初よりあすなろ学園の児童を誘って運動会に参加してはどうかという意見があり、男子7名、女子2名そして先生3名の合計12名に参加して頂きました。クラブのメンバーは選手、応援、家族を含めると38名の参加があり、総勢50名の大所帯となりました。

昨年度は生徒数31名、今年度は22名と年々減少の一途で寂しく感じますが、ほとんどの生徒が競技に参加し、準備しながら応援と息つく暇もなく頑張っていました。まず、全員で参加する「準備運動」から始まり、Hさん親

子が大活躍の「めくってハッスル」、運動会定番の「百足競争」、運と脚力の「太鼓でドン」、そしてこれまた定番の「綱引き」「パン食い競争」と、競技が進むに連れて少し遠慮がちだったあすなろ学園の子供たちも進んで参加するようになり、メンバーの出る幕がなくなりつつあるなか、休憩の時間になりました。恒例の着付け競争の着替えを見ながら、全員でお弁当を食べ、着付けの成果を拝見させて頂きました。白組はテレビ等でおなじみの「ウォーターボーイズ」を寒い中演じていました。そして赤組は、「ミニスカポリスと泥棒」とさすがに若いと感心しているメンバーさんもいました。そして後半の競技が始まり、「みんなでジャンプ」10人が大縄跳びをするのですが、私が唯一参加出来た競技でした。結果は見事2位。ぶっつけ本番にしては上出来でなかっ



定时制運動会観戦中、一句
運動会、年甲斐もなく一寸照れ。
おいちゃんは、こっちの足と手を引かれ。



西高定期制運動会(H16.10.6)・献血(H16.10.17)

たかと思います。(自画自賛?) 続いて会長さんをはじめ我がクラブの大御所が参加しての「WANTED」、少し照れながら女子高生と二人三脚、うらやましい限りでした。残す競技は後2つ「紅白リレー」と待ちに待った「フォークダンス」。リレーは疲れを知らない子供たちの活躍で見事3位、そして昔から変わらない『オクラホマミキサー』『コロブチカ』を踊り、何のためらいもなく女子生徒と手を繋ぐ少しにやけた顔が印象的でした。

あっという間に閉会の時間となりました。今後生徒の減少に伴い運動会の開催が難しくなっていくと思いますが、今後は奥様方や子供さんの参加を呼びかけてチーム対抗戦のようにしてはいかがでしょうか。生徒たちの学校生活にとって大切な行事の一つですので継続出来ますよう支援して参りましょう。

最後にあすなろ学園の皆様、選手、応援のメンバー、またご家族の皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



献血



保健委員長 亀田 孝翁

日 時／10月17日(日)

10:00～16:00

場 所／今治サティ

生活スタイルが多様化している時代の中で血液が大変不足しており、如何に健康で安全な血液をより多く確保していくかという社会需要の下で、日赤に協力し献血活動を行いました。因みに受付者131名中、有効101名(200ml献血27名・400ml献血74名)と高成績でした。日曜日にも関りませず、委員会の皆様メンバーの皆様ご協力有難うございました。次回は5月頃(日赤の事情等)を予定しています。又、ご協力宜しくお願い致します。



水害と防疫業務

青野 勝彦



台風16号・21号により、高松市・新居浜市にて床下、床上浸水等の水害が発生。河川は氾濫し海水は押し寄せてくる、道路は川と化し自動車が上流から流れてくる、下水道も逆流し便器から汚水が逆流する家もあったそうです。特に高松市は、あたり一面水没しになり避難するのが必死だったようでした。

後に残されたのは、使えなくなった家具類・汚泥・異臭。それと大切なのは感染症の基となるあらゆる菌類も水害地域に広がっているのです。近年抗菌グッズがよく売れるのでも解るように日本人は清潔好きです。当然市民からは不衛生だとクレームが出ました。そこで両市は即決し汚染地域の全体消毒を決めました。あらゆる菌類が水害地域に広がっているこの事態が両市の行政によって素早く解決されたのです。

そこで我々(社団)日本ペストコントロール協会(長いのでPCOに省略)会員の出番となったわけです。

まずは簡単に日本ペストコントロール協会を紹介させていただきます。

戦後、我が国のネズミ・昆虫等の防除対策は、伝染病予防対策の一環として媒介動物の

駆除を主な目的として推進され、昭和30年「蚊とハエのない生活実践運動」を踏まえて環境衛生担当職員の指導により住民参加による害虫駆除が協力で推進されました。

昭和45年「ビル衛生管理法」の制定により、建築物における衛生的環境の確保のために、ネズミ・害虫の重要性が位置づけられ、その駆除の扱い手として我々PCOが急速に注目されることになりました。この時期、害虫駆除の業務が確立されました。

以後、害虫・ネズミ駆除、伝染病及び感染症対策(鳥インフルエンザ等)等の防除に取り組んでいます。

二次汚染防止(汚染区域の消毒等)では各県予防衛生隊を結成、今回同様行政とタイアップし、お互いの足りないところをフォローしながら防災意識を高めていこうと話し合っていました。その矢先の災害でした。

では最近行った予防衛生隊における消毒業務を2件紹介させていただきます。

9月30日、九州から日本列島を縦断した台風16号は特に香川県では、高潮による床上床下浸水に被害が続出、被害戸数21,000戸。高潮が引いた31日からは伝染病・食中毒等の衛生環境を考慮した高松市の行政より香川県



日本ペストコントロール協会紹介

PCO協会に防疫出動の依頼があった。

規模の大きさから香川県会長は四国地区本部に応援出動の打診、地区本部長から直ちに四国各県会長に連絡し9月1日より防疫作業を開始した。

消毒作業は9月6日でほぼ完了の見込みとなり翌7日撤収の令が出される。丸亀市・坂出市を含めると延べ103班の予防衛生隊が出動した。

高松の業務では、「タンク・動力噴霧器・延長ホース50メートル以上」車1台につき人員2名・平均1日18台出動。薬液はクレゾール希釀液を使用、小・中学校全域、民家外部の消毒で道路等は自衛隊が担当しました。市民の要望を聞きながらの作業でしたので思うように進まず、苦労したことは記憶に残るでしょう。

〈新居浜市〉

高松市水害の余韻覚めやらぬ9月30日、台風21号がまたも四国地方を直撃。新居浜市においては雨による河川の氾濫、折からの満潮と重なり新居浜市全域が水害にあう。すぐさま新居浜市は市内全域の消毒を検討、新居浜市に本社を構える別子消毒・EGS両社（愛媛県PCO協会会員）に出動が打診される。翌9月1日、新居浜市は市内全域の市道・河川の消毒を決定。

行政と両社が綿密な打ち合わせを行い、防疫業務開始10月4日・終了予定10月8日。



1日投入車両20台・消毒区域は市内市道及び河川・使用薬剤「塩化ベンザルコニウム」と決定。ただちに両社は愛媛県PCO協会に応援出動を打診、会長より四国地区本部へ連絡し各県に応援出動を要請する。結果、愛媛県9台、香川県5台、高知県4台、徳島県2台の衛生隊車両が、災害予防衛生隊対策本部となつた新居浜保健センターに4日朝集結する。

対策本部長である・新居浜市長から激励のご挨拶をいただき防疫業務開始となる。

10月8日、12時無事業務完了、市長の労いの言葉を頂き対策本部解散、撤収となる。

前回同様、今回の応援出動にご参加頂いた衛生隊の方々は、自社の日常業務を止めて応援して頂きました。宿泊する隊員、毎日高知・香川から通つて頂いた隊員、それらの費用は食事も含め全て自前での参加ですが、皆さん泣き言一つ言わず、緊急時だからと積極的に協力してくださる姿は生涯忘れる事は無いでしょう。

〈終りに〉

両市の衛生隊応援出動では、四国地区本部を元に愛媛県、香川県、高知県、徳島県の協会が一体となり、お互いに協力し初期の目的を達成したことはPCOの歴史に残ることになると思います。また、高松市・新居浜市保健所責任者からも、お褒めの言葉と今後のPCO協会に対する期待のお言葉を頂きました。





飲み屋例会

ジェネレーションギャップは埋まったか!?

計画委員長 村瀬牧男

10月21日(木) 18:30より、10月第2例会は「飲み屋例会」として、「白楽天」で開催されました。なるだけ形式は省略して、ひたすら飲み喰いすることとし、同じテーブルの者同志、みんなで話し合い、飲みにケーションでコミュニケーションを図り、ジェネレーションギャップを少しでも解消できればというのが、この例会の目的とするところがありました。

普段の例会では両隣りとちょっと雑談するのが精一杯で、慣れ合った同世代のいつものメンバー同志で隣り合う風景が目立っておりました。人間お互い帰巣本能があり、いつもの席以外に着席するのも勇気がいることではあります…。そしてまた最近は新しいメンバーも増えており、名前と顔が一致しないとこぼす年長組メンバーの声もあり、世代間のジェネレーションギャップが気になるところであり、その打開策でもありました。

準備段階で気についていた料理も酒も十分あり、だらけるでなく、騒々しくもなく、テーブル間の移動も少なく、各テーブルもそれなり

に盛り上がり、締まるところはちゃんと締まり、テールツイスターの存在もちゃんと光っていました。最後のジャンケンゲームによる賞金の取り合いも、行くべきところ(なぜか寺町君)に落ちつき閉会となりました。



幹事がセットした二次会

にも多数のメンバーが流れ、かつての東LCらしい雰囲気も多少取り戻した感もありました。かつては夜の例会やACTの打上げでは大挙して二次会に繰り出した過去のことを思うと、時代の流れとは云え、「懐かしさ」と「寂しさ」を感じずにはおられません。

最近はメンバー全員で参加するACTも少なくなりましたので、こんな「飲み屋例会」的な場も、今回に限らず続ける必要性を今さらながら感じるのも年齢のせいか、それとも時代の流れでしょうか。いやいや、そんな気持ちになるのが既にジェネレーションギャップなのでしょう。



メンバー近況報告

(10月ドネーションより)

- 篠宮 博幸** 青少年育成委員長になりまして初めてのアクト(西高定時制運動会)を無事に終えることができました。沢山の方々の参加、協力を頂きましたことに感謝しましてドネーションさせていただきます。ありがとうございました。
- 小澤 俊徳** 西高定時制運動会に家族中で参加させていただきました。ありがとうございました。(青少年育成副委員長)
- 越智 英年** 今治西高定時制運動会でハッスルさせていただきました。
- 亀田 孝翁** かねてより建設中のマンションが完成しました。関係者の皆様に感謝します。

村瀬 牧男 10/16~10/17 松山で開催された第60回ユネスコ全国大会が盛会に終了できました。大会実行副委員長として協力いただいた関係各位に感謝します。

青野賢二郎 マーチングバンド今治「スカイラーカ」は10月11日マーチングイン岡山(参加60チーム)で、フェスティバル部門の第1位を頂きました。

近藤 徹也 次男が結婚しました。祖母と夫婦3人だけの生活になりました。

世良 建二 長女が結婚しました。(10/16) ドネーション致します。

誕生日ドネーション

白石 浩二 高橋 清弘 玉井 一
亀田 孝翁 青野賢二郎 白石 善貴



第36回今治市社会福祉大会 (H16.10.16)



今治Jr. MTB普及協議会 (H16.10.13)



トピックス



ゲスト卓話 (H16.9.16)
「いまばり郷土料理の秘密」
土井中照様



バレー・ポール練習

(有)サンオート

代表取締役 多田 英文

〒794-0065 今治市別名353-1
TEL 23-1677 FAX 23-1656

自動車整備・車検・新車販売・
中古車販売・钣金塗装・消臭・
カーコンビニ俱楽部ガリバー
加盟店・保険代理店・車の事
なら全て承ります。

(株)西日本観光

代表取締役 田中 節太

〒794-0811 今治市南高下町1-4-21
TEL 22-6000 FAX 32-0831
<http://www.exbrain.co.jp>
<http://www.tabibugyou.com>

旅行事業部 国内・海外旅行
広告事業部 (株)大広代理店
テレビ・新聞・ラジオ
イベント・総合企画等々
保険事業部 東京海上代理店

ムロヤ菓舗

店主 谷口昭太郎

〒794-0015 今治市常盤町1-6-2
TEL 22-0692 FAX 22-0741
<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/muroya/>

新発売!!

藤堂高虎出世餅『青雲の城』
『韃靼そば餅』

10月例会・理事会報告

10月第1例会

日 時 平成16年10月7日(木) 12:15~
場 所 今治国際ホテル「ダイヤモンド」

出席者 47名(62名中)75.8% 補正後93.5%

マーク・アップ 11名

・会長挨拶

・食事

・委員会報告

今治西高定期制運動会報告

青少年育成委員長 篠宮 博幸

献血について 保健委員長 亀田 孝翁

ハルモニアフリーマーケットについて 財務委員長 矢内原 元

ハルモニアバザーについて 社会福祉副委員長 越智 英年

2Rスポーツ大会について 出席副委員長 谷口昭太郎

・幹事報告及び終末事務

*宮本均さん退会について

*YE冬季派遣生受け入れ要請の件

*ソフトバレー練習会について

*2R親善スポーツ大会中止の件

10月第1理事会

日 時 平成16年10月12日(火) 19:00~

場 所 事務局会議室

理事メンバー 13名

マーク・アップ 3名

《議題》

1. 9月月次収支報告・四半期会計報告 承認。
村上巣さん追悼ビデオ代25,000円を予備費から支出することを承認。

2. 「1.17 KOBEに灯りを」開催についての協賛のお願いについて
継続して審議する。

3. 2005夏期YE生派遣募集のお願い

11月第1例会にてYEについての情報交換会を催す。

4. 「平成16年度臓器移植普及推進月間」運動の実施について
保健委員会より10月17日(日)の献血会場にて、会員にパンフレット、臓器提供意思表示カードを配布する。

5. その他

* 2R親善スポーツ大会、2R親善ソフトバール大会ともに今年は中止となりました。

*今治4LCで被災地に義援金を当クラブより50,000円支出去することを承認。

*第2回地区委員会が10月28日(木)高知新阪急ホテルにて開催され、安見さん出席。登録料、旅費を支出することを承認。

*第2回地区ガバナー諮問委員会並びに第3回ゾーンレベル会員委員会が11月27日(土)今治国際ホテル「アイリスの間」にて開催されます。地区委員、三役、会員理事の計5名出席。登録料をクラブより支出することを承認。

10月第2例会

日 時 平成16年10月21日(木) 18:30~

場 所 白楽苑

出席者 50名(62名中)80.6%

・会長挨拶

・委員会報告

献血について 保健委員長 亀田 孝翁

例会日 第1・第3(木曜日) 12:15

例会場 今治国際ホテル

会長 近藤 徹也

今治市喜田村4-13-35 ☎ 089831-2800

幹事 井出 純司

今治市東村5-8-35 ☎ 089848-0933

会計 井上 昌樹

今治市喜田村2-4-8 ☎ 089836-6051

ハルモニアフェスティバルについて

社会福祉副委員長 越智 英年

ハルモニアフリーマーケットについて

財務委員長 矢内原 元

今治Jr.MTBフェスティバルについて

青少年育成副委員長 小澤 俊徳

・幹事報告及び終末事務

幹事 井出 純司

*今治4LCで被災地に義援金を当クラブより50,000円支出去することを承認。

*第2回地区委員会が10月28日(木)高知新阪急ホテルにて開催され、安見さん出席。登録料、旅費を支出することを承認。

*第2回地区ガバナー諮問委員会並びに第3回ゾーンレベル会員委員会が11月27日(土)今治国際ホテル「アイリスの間」にて開催されます。地区委員、三役、会員理事の計5名出席。登録料をクラブより支出去することを承認。

・懇親会

開会挨拶、乾杯

第1副会長 近藤 純一

歓談

余興

テールツイスター 田辺誠 邦

閉会挨拶

第2副会長 長野 功

閉会

10月第2理事会

日 時 平成16年10月26日(火) 19:00~

場 所 事務局会議室

理事メンバー 14名

マーク・アップ 2名

《議題》

1. 今治Jr.MTBフェスティバルについて
台風23号で近見山に土砂崩れの被害があり、開催は中止。関係各位、中止者に早急に連絡。

2. 愛媛県立今治養護学校文化祭・学習発表会ご案内

今治養護学校文化祭・学習発表会ご案内

10月30日(土) 文化祭 会長出席。

11月27日(土) 学習発表会 前会長出席。

クラブよりお祝金1万円支出し。

3. 「1.17 KOBEに灯りを」開催についての協賛のお願いについて 協賛しないこととする。

4. その他

*前回理事会で決定したとおり、今治4LCで被災地に義援金送付しました。

*地区委員宛に各Zの第2回地区ガバナー諮問委員会並びに第2回ゾーンレベル会員委員会の開催案内が下記の通りあり、登録料、旅費を支出去することを承認。

3Z 11月20日(土) すし平高砂殿 登録料 6,000円

4Z 11月19日(日) 伊予小松ライオンズ事務局 登録料 2,000円

*松山中央ライオンズクラブより、「第40回現代日本画・洋画展」の案内があり次回例会で案内します。

編集窓

台風はもううんざり! 幸いにもここ今治では大きな災害は発生していませんが、23号のあと24号も発生しているようです。また災害が起らぬことを祈っています。ところでこの台風災害で新居浜や西条ではお祭りの参加を自粛した団体、また沉んだムードを吹き飛ばそうと参加した団体、どちらも苦渋の選択だったと思います。来年は秋晴れのもとで開催できることを願っています。(T.K.)

発行日 平成16年11月4日 毎月1回発行

発行所 ライオンズクラブ国際協会336-A地区

2R・2Z 今治東ライオンズクラブ

事務局 今治市旭町1丁目4-6(今治国際ホテル内)

メールアドレス higasile@dokidoki.net.jp ☎ 089832-3350

編集責任者 PR委員会(委員長 野間道博) ☎ 089832-8750

印刷所 有限会社 ワードアイ ☎ 089848-0933

メールアドレス info@wordeye.co.jp